

個々の漢字をよく知ったうえで、熟語としての用法を理解することがたいせつである。ここには、特に難解なもの、誤解しやすいものの、試験によく出題されるものを選んだ。

愛染(アイゼン)愛に染まる意。^{ボンゴ}梵語で^{ボンノウ}煩惱のこと。

×
隘路(アイロ)狭くけわしい道。障害・難関の意味に使う。

悪行(アクギョウ)悪い行ない。

悪業(アクゴウ)悪い報いを招くような行ない。

悪食(アクジキ)いかもの食いという使い方と粗食という使い方とがある。

× × × △
齷齪・倨促(アクセク)こせこせすること。
気が小さい場合にも熱心な場合にも使う。

握力(アクリョク)物を握りしめる力。

×
浅茅(あさぢ)たけの低いちがや。

×
阿修羅(アシュラ)戦いを好む神。梵語。

△ △
網代(あじろ)竹や木を編んで作る。魚を取るために水中にしかけるもの。

△ △
朝臣(あそん)^{クダ}公卿の姓名にそえる敬称。

あさおみ→あそみ→あそん、となる。

圧搾(アッサク)強い圧力を加えること。搾はしぼること。例^{サクニユウ}搾乳

×
斡旋(アッセン)両方がうまくいくように間にはいってとりもつこと。^{シュウセン}周旋。

× ×
軋轢(アツレキ)車がぎしぎしすることから、仲の悪いことを言う。

△
行燈(アンドン)木のわくに紙を張って作った照明具。この音は唐音。

安穩(アンボン)穏やかなこと。穩はオンだが安(an)のnがついてノン(non)。